

ISO行動指針 “5SとABCの徹底”

オオケン便利

お知らせ

<PPP事業部>

<広島市留学生会館>

当会館では、1 月 11 日（日）に国際交流イベント「HOT JAPAN EXPO」を開催しました。

当日は今冬一番の寒気に見舞われる中、約 600 名の方にご来館いただきました。イベントでは、日頃より当会館をご利用いただいている定期利用団体の皆様のご協力のもと、さまざまな日本の伝統文化を体験できる演出や体験ブースを展開し、当会館に居住する留学生をはじめ、多くの市民の方々との交流を深めることができました。今後も施設の利用促進と交流の場づくりを目的としたイベントを企画してまいりますので、是非ご来館ください。



<廿日市市民活動センター>

当センターでは、廿日市市のまちづくり活動事業の一環として、「みんなの健康教室（2025 年度）」第 4 回を、2 月 12 日（木）に開催します。今回は「耳のフレイルについて！加齢で悩む耳のケア！」をテーマに、大野浦病院 言語聴覚士の五郎水 敦 先生を講師にお迎えし、耳の仕組みや加齢による変化、日常生活で実践できるケア方法について分かりやすくご講演いただきます。本講座は、市民の皆様の健康意識の向上と地域活動の促進を目的とした取り組みです。ご興味のある方は、ぜひこの機会にご参加ください。



<SP事業部>

2025 年は、催事に関わる労災事故、物損事故、怪我をゼロで終えることが出来ました。これは、事前の KY ミーティングを確実に実施した成果だと思います。この結果に決して満足することなく、今後も関係者の安全意識の更なる向上を図り、2026 年も引き続き「事故ゼロ」を達成いたします。

<クレンリネス事業部>

新年あけましておめでとうございます。昨年 12 月に実施された広島市立北部医療センター安佐市民病院および舟入市民病院のプロポーザルにおいて、無事落札することができました。2026 年 4 月からの 4 年間の契約となります。日頃の皆様のご尽力の賜物と感謝しております。他の現場でも皆様の努力が支えとなっています。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

<FM事業部>

FM事業部では、年度末に向け地下街シャレオ、広テレビビル等いくつかの事業所で電気保安規程に基づく高圧受変電設備の年次点検（停電作業）を予定しています。作業内容は、作業計画に基づき保護装置試験、絶縁抵抗・接地抵抗の測定、各所の清掃等を実施し、各施設とも点検作業開始前には作業員全員が集合し、KYM（危険予知ミーティング）を行うことで安全作業の徹底に努めます。既にお知らせしておりますが 2 月 18 日～19 日の夜間には、紙屋町地下街シャレオが予定されており、毎年のこと

ですが、各事業所からの応援勤務をお願いしますので、日常点検では出来ない停電・復電作業や高圧機器の点検・動作試験などが直接現場で体験できることから、勤務を調整し積極的に参加して下さい。

<セキュリティ事業部>

昨年末から年始にかけて、転倒事案が複数件発生しております。冬季は寒さや路面状況、体調の変化などにより、事故が起こりやすい時期でもあります。再発防止に向け、各事業所において日々の健康・体調チェックを徹底するとともに、体調に不安がある場合は無理をせず、早めに相談してください。また、巡回や移動の際は足元の安全確認を十分に行い、事故の未然防止に努めましょう。

～ 一人ひとりの安全意識が、職場全体の安全につながります ～

<東京支店>

新年あけましておめでとうございます。東京支店は1976年（昭和51年）3月の設立以来、多くの皆様に支えられ、本年、50周年という大きな節目を迎えることとなりました。これまでのご支援に心より御礼申し上げます。現在のメンバーは最古参でも30年ほどの社歴で、知らない歴史も多くありますが、先輩方が積み重ねてこられた努力と成果をしっかりと受け継ぎ、これからも力を合わせて取り組んでまいります。引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

<安全衛生管理委員会>

新年あけましておめでとうございます。昨年は転倒転落事故が3件発生し、その内1件については現在も休業が続いています。転倒転落事故は休業を伴う事故となる可能性が高く、毎年のように同様の事故が発生しています。今年に入り、1件の転倒事故が発生しましたが、転倒転落事故の撲滅、そして、休業を伴う事故の撲滅を目指して今年1年間安全活動を行ってまいります。事故のない安心安全な職場環境を皆様と共に築いていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。ご安全に！！

<磨種（とぎぐさ）>

謹んで新年のお慶びを申し上げます。令和八年・丙午の年を迎えました。

年初より国際情勢に関するさまざまな報道が続き、世界の行方が見通しにくい状況ではありますが、皆さまが健やかに新春を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。

このように社会が不安定な時代だからこそ、古典に学ぶ姿勢が一層重要になります。中国の古典『大学』には、次のような一節があります。

「国家に長として財用に務むる者は必ず小人（しょうじん）によるが、小人これを善くすと為して、小人をして国家をおさむれば災害並びいたる、善者ありといえども如何ともするなし」とあります。つまり、「徳を欠いた者が要職につくと、自らの判断を正しいと誤信し、同じような人物を重用する。その結果、災いが重なり、たとえ善人がいても力を発揮できなくなる」という戒めです。

これは国家に限らず、組織運営全般に通じる教えでもあります。どれほど環境が変化しようとも、判断の基準を“利”ではなく“義”に置くこと。組織の長がその姿勢を貫くことで、はじめて健全で持続可能な組織が築かれます。

当社は現在、経営理念として「[最適環境づくり・人づくり・国づくり](#)」を掲げ、行動基準として [5S](#)（整理・整頓・清掃・清潔・躰）と [ABC](#)（A 当たり前のことを、B ビックリするくらいに C チャンとやろう）の徹底を進めています。[これらはまさに、「利を以て利となさず、義を以て利となす」という精神を実践するための具体的な行動指針](#)です。

私たちは、日本社会から必要とされる仕事を着実に果たしながら、確固たる理念を持つ企業として未来へ歩み続けます。

そして、100年先まで社会に貢献し続ける企業となるべく、非射利主義経営を軸に、義を重んじた事業運営を進めてまいります。

本年も、皆さまと共により良い未来を築いていけることを願っております。

